

平成 22 年度事業実績報告

1 総会等の開催

(1) 年次総会の開催

日時:平成 22 年 6 月 11 日(金) 午後 7 時 30 分～午後 8 時 50 分

場所:笛吹市石和町 常德寺客殿

内容:事業計画・予算案の審議

(2) 例会の開催

今年は、8 月、11 月に実施。

<特定非営利活動に係る事業> ※()内は担当者、◎はリーダー

2. 地域資料デジタル化の研究と実践

①ホームページ運用(◎丸山副理事長)

デジ研公式 HP は、ブログの定期更新やtwitterにより情報提供・情報交換を行った。コンタクトフォームの活用、「山梨 NPO 情報ネット」での情報発信も引き続き行っている。

山中湖情報創造館の HP も最新情報を随時発信している。

②デジタルアーカイブの整備

a. 「みんなの山梨アルバム」(◎中澤、井尻、小澤、内藤幹浩、堀水)

今年度は内田宏さんの主だった写真も HP にアップし終わり、「昭和写真大全」「美味しんぼ」等への資料貸出により活動資金の確保が出来た。他に、現在甲府市内の歴史的な建造物(旧甲府市役所、山梨県庁旧庁舎等)が解体・消失されている状況で、貴重な建造物を後世に伝える記録写真の公開を開始した。

b. 本年度の貸出資料

○「昭和写真大全・甲府」「昭和写真大全・峡東」(83 点)への資料貸出。(赤井哲哉様、郷土出版)

○漫画「美味しんぼ 105 巻」内の、戦争直後の造林・林業の作画資料写真として、内田宏氏の「植林 作業」、「森林の除草刈り」の2枚を貸出。(小学館)

○魚柄仁之助 著『食べ物の声を聴け!』に内田宏氏撮影の「キッチンカーで演示する生活改良普及員」を図版資料として貸出。(岩波書店)

c. 軍人写真アーカイブ (◎小林)

【今年度は保留】

d. 早川町奈良田方言調査、記録(◎小林、江本、内藤幹浩)

音の収録は終了し映像も前回収録したものを合わせて、国立国語研究所の吉田さんがDVDの作成を行っている。地元の年配の方々も作品を見たがっているというので、なるべく早めに対応したい。また、科学研究費による事業だが、Youtubeなどで公開できるかどうか検討していきたい。

e. 永井天神社神楽保存事業(第2期) (◎江本)

○委託期間・平成 22 年 11 月 14 日～平成 23 年 3 月 31 日

○委託料・・・・358,943 円

昨年に引き続き記録の依頼があった。2 期目ということで、前回取り残した6演目を採録。映像・音声を記録保存し、DVD を作成して納品した。全てを撮り終えてはいないが、既に年配の方々には舞えなくなっているのが現状。昨年記録したものを区や市での上映したところ大変好評だったようだ。市の助成金は今年度で終了とのこと。

f. 大月市文化財保存事業 (◎江本、井尻)

2 月 6 日(土)に大月市民会館で実施された。今年で 6 回目となる記録会だが昨年で国の助成が終了していて、1,000 円の入場料を取って実施された。今回は全く予算がないという事で、デジ研もボランティアで参加、記録を行った。デジ研からは、江本、井尻が参加した。保存会主催の公演は今回で最後となり、今後は他の公演で実施していく予定。

g. 市町村合併に伴う未整理地域資料アーカイブのための研究と実践 (◎小林)

今年度は具体的活動へは繋がらなかった。

③リングサーバーへの参加 (◎日向)

継続して利用したが、サーバー容量が少ないため更新はなかった。

④会員メーリングの運用(◎内藤理事、堀水)

digiken、digiken_riji、digiken_archives の 3 つのヤフー・メーリングを活用し、会員相互の連絡、意見交換を行った。

⑤一般向け会員向け技術セミナー・研修会の開催（◎丸山高弘）

今年度は会員向け勉強会を3回実施した。

「電子書籍とデジタルアーカイブ」平成22年7月27日(火)実施

「山中湖デジタルアーカイブフォーラム2010 写真アーカイブの過去・現在・未来」

平成22年9月25日(土)山中湖情報創造館にて実施

「電子書籍」平成23年1月24日(月)実施

◎外部への研修として、下記イベントに参加した。

【視察】デジタルサイネージジャパン2010 平成22年6月9日(水)

【視察】東京国際ブックフェア2010 平成22年7月10日(土)

【参加】まちとよテラソ開館一周年記念シンポジウム「デジタルアーカイブで遊ぶ、学ぶ、つながる」

平成22年7月19日(小布施町立図書館)

【講師】静岡県商工会議所青年部7月シティセールス委員会定例会

平成22年7月26日(月)(グランシップ)

【講師】長野県地域ICT活用セミナー

平成22年10月20日(水)(メルパルク)

【視察】第12回図書館総合展

平成22年11月24日(パシフィコ横浜)

【講師】NPO法人山梨子ども図書館セミナー

平成22年1月15日(土)(山梨青少年センター)

【講師】地域デジタルアーカイブ講座「地域住民が主体となったデジタルアーカイブの取り組み」

地域文化デジタルアーカイブ倶楽部/土佐学協会地域文化デジタルアーカイブ研究会

平成23年1月16日(日)(高知県立図書館)

【参加】やまなしふっとばすりんく準備会

平成23年2月17日(木)(フォーハーツカフェ)

【講師】シンポジウム デジタル時代の知の創造 平成23年2月26日(土)(岩手県立図書館)

3. 地域資料デジタル化等に関する普及啓発

①地域資料デジタルアーカイブ展示・体験会の開催（◎井尻）

a. 2010 山梨テクノフェア&マルチメディアエキスポ出展

日時:平成22年11月18日~20日(展示作業11月17日)

会場:アイメッセ山梨

○ パネル展示(貸出資料掲載出版物展示、山中湖情報創造館展示)

○ 永井天神社神楽記録のDVDを会場で放映

○ 来場者に対して、デジ研パンフ、ニュースレター、情報創造館パンフ等を配布した。

○ 開催期間中、丸山副理事長が「家族の写真からはじめるデジタルアーカイブ」と題してプレゼンテーションを行った。

②公開フォーラム・講演会等の開催

a. 市町村資料アーカイブサポータープロジェクトの為にシンポジウム（◎小林）

今年度は実施しなかった。

b. Lib+Live、その他普及啓発セミナー等（◎丸山高弘）

今年度は Lib+Live、司書の卵セミナーともに実施しなかったが、その代わりとして図書館サービス研究所と共催で9月4、5、6日に「図書館ブランディングセミナー」を実施した。図書館のブランド化ということで来年度以降も継続して実施していく予定。

c. テーマを定め、地域資料デジタル化について本会の研究成果を発表する。（◎井尻）

今年度は実施しなかった。

③会報の発行(◎丸山高弘)

11月のマルチメディアエキスポに合わせてニュースレターを発行した。研究誌の発行はしなかった。

4 図書館・博物館等の学習施設の情報化及びサービスに資する事業の受託

①山中湖情報創造館運営事業の継続（◎丸山高弘）

○指定管理期間・・・平成22年4月1日~平成25年3月31日

○平成22年度委託料・・・17,300,000円

○平成22年度職員・・・5名、アルバイトスタッフ(延9名)

司書の卵キャンプは今年度実施しなかった。吉井さんからの引継ぎ事業で、若手の学生を集めるルートが難

しい。但し、学生に実習の機会を与える必要性は感じているので、今後何等かの形で実施していきたい。

②「安心子ども基金」事業(◎加藤、宮崎、舟久保)

○ 委託期間・・・平成 23 年 3 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日

○ 委託料・・・500,000 円

村内の学校図書室用に図書資料 1,015 点(内図書 902 点、視聴覚資料 113 点)を新規購入。それに伴う装丁等作業業務を受託。資料は山中湖情報創造館に配置し、順次各図書室に貸出す予定。一般利用者への貸出も行う。

③地域情報化推進協議会、県立科学館との「メディアリテラシーワークショップ」の事業受託(◎丸山高弘)

○ 主 催： 山梨県地域情報化推進協議会 山梨県立科学館

○ 協 力： NPO 法人地域資料デジタル化研究会

○ 日 時： 平成 22 年 6 月 19 日(土) 午前 9 時～午後 3 時迄

○ 場 所： 県立科学館

○ テーマ：「君は未来のCMディレクター」

○ 講師： 丸山副理事長 アシスタント：内藤理事、内藤志織、堀水

平成 22 年度情報通信月間企画。実際に参加者の撮った写真を使用したり、山梨観光推進機構のHPからダウンロードしたフリー素材の風景写真を使いCMづくりをした。今回出来上がった作品は、CATVでの放映や山梨県立科学館のHPにも公開された。今後の課題として今まで実施してきたものをまとめてデジ研としての事業展開を考えたい。

④図書館・博物館とデジタルアーカイブ整備への協力事業(◎井尻)

今年度は博物館との連携も実施できなかったため、来年度以降の課題としたい。

⑤「デジタル版やまなし方言集」製作作業(◎丸山高弘)

現在国立国語研究所の吉田さんから仕事待ちの状態だが、事業としては滞っているので来たところに対応したい。(来年度事業からは抜く)

5 他の団体、有識者等との交流事業

①関東 ICT 推進 NPO 連絡協議会への参加(◎小林、丸山高弘)

「関東 ICT 推進 NPO 連絡協議会」の総会、セミナーへの参加。また、9 月 24、25 日に山中湖で Code4libJAPAN (丸山副理事長が代表)のイベントが行われ 25 日に関東 ICT 推進 NPO 連絡協議会のフォーラムとして「写真アーカイブ過去・現在・未来」を実施。写真評論家の飯沢耕太郎氏とパートナーのときたまさんに写真評論家の立場から「写真の世界の中でのアーカイブ」のテーマでお話を伺った。

②地域資料デジタルコンテンツ協会(仮称)の立ち上げ (◎小林、丸山高弘、井尻)

今年度は主だった活動が出来なかった。

③e メディア研究会との研究交流(◎中澤、井尻)

メーリングでの交流を行っている。現在 e メディア研究会独自でポータル機能を持つという開発をはじめようとしている。

④NPO が係る全国の公立図書館との連携事業 (◎小林)

少しずつであるが、動きをはじめている。2 月 26 日(土)に、岩手県立図書館でのシンポジウム「デジタル時代の知の創造」にパネリストとして丸山副理事長が参加、27 日(日)28 日(月)には「ipad ワークショップ ～触ってみよう ipad」に都留文科大学(日向理事)が参加してくれた。

⑤わだつみ平和文庫への協力 (◎小林)

ノート、手紙等の貴重品約50点は京都の立命館大学に寄託した。塩山のわだつみ平和文庫には現在写真が展示してある。図書については、山梨県立図書館から依頼がきていたが先方はNDC分類で蔵書するというので、こちらの要望である文庫という形態を受け入れてもらえなかったため、去年 11 月断りを入れた。新しい施設の開拓を検討していて、紹介していただいた候補地を2、3視察したがどれも資料保存には向かない場所だった。冒険的な考えではあるが、京都に「わだつみ平和文庫」を移し、貴重資料と同様、山梨の修学旅行生などにも見られる機会が作れるのではないかと考えている。図書は 2 万 5、6 千点ある。

もう一点、「わだつみの声」の中村克郎さんの原稿がわだつみ会に保管されている。克郎さんがわだつみ会の

理事長だった時に持ち込んだものだが、遺族は返却して欲しいという事で動いている。
デジ研としては既に記録してあるデジタル画像をしっかりとしたものとして公開していきたい。

6その他

①運営組織体制の見直し～デジ研構造改革～（◎丸山高弘）

今年度は具体的な動きにはならなかったが、平成 23 年度から理事長も山梨に戻り、いくつか事業を計画している。

②県内の博物館・図書館等のあり方について適時提言を行う（◎小林）

韮崎市立図書館の指定管理者への応募を行ったが、残念な結果になった。また次に繋げたい。

（以上）